



平成 30 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社三洋堂ホールディングス
 代 表 者 名 代表取締役最高経営責任者兼 加藤 和裕
 最 高 執 行 役 員
 (東証JASDAQ コード番号: 3058)
 問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 伊 藤 勇
 経 営 企 画 室 長
 (TEL: 052-871-3434)

平成 31 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想と 実績との差異に関するお知らせ

平成 30 年 5 月 11 日に公表いたしました平成 31 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想と、本日公表の実績値に下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

平成 31 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値と実績値との差異
 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円、百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9,800	百万円 △70	百万円 △50	百万円 △70	円 銭 △11.90
今回実績 (B)	9,886	△9	△3	△2	△0.45
増減額 (B-A)	86	60	46	67	—
増減率 (%)	0.9	—	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	10,440	73	88	55	9.50

(差異の理由)

売上高は、当初レンタル部門とセル部門の売上高を厳しく見込んでいましたが、予想を上回ったことから、前回予想を 86 百万円上回る 98 億 86 百万円となりました。

また、売上高に伴って売上総利益も予想を上回ったことと販管費が予想を下回ったことなどから、営業損失は前回予想を 60 百万円上回る 9 百万円、経常損失は前回予想を 46 百万円上回る 3 百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は前回予想を 67 百万円上回る 2 百万円となりました。

なお、通期の連結業績予想につきましては、書店部門の売上が当初の予想通り厳しく推移する見通しであるため、現時点での修正はございません。

以上のことから、通期での売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、平成30年5月11日に発表いたしました予想を据え置いております。今後の業績の推移に応じて修正が必要と判断した場合は、速やかに開示いたします。

(注) 上記の業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいております。従いまして、実際の業績は、今後様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

以上